

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 4 令和 2. 6. 12



テントに寒冷紗を繋げて遊び場を広くしました。

平常保育になって二週間、園ではコロナの事を忘れてしまう位元気なこども達です。新入園児の多い未満児組さんは、慣れない集団の生活に不安が大きくまだ「アーン アーン」と泣ける事が多いです。先生達は、抱っこしたり、おんぶしたり、外の風に当てながら気を紛らわしたり又その子にとっては落ち着くという小さな部屋ですごさせてみたりなど、ああしたりこうしたりの方法を取りながらの毎日。こども達が一日でも早く園の生活に慣れてくれる様にと願う事です。年少さんは、自由遊びの後、大きい子と一緒に「たけのこ体操」をしたり、スキップらしきをまねしながら一日を始められる様になりました。「ママにでんわして！」と泣きながら何度も職員室をのぞいていたH君も「おやつを食べるとママが来るから待ってね」が聞ける様になりつつあります。昨年未満児組を経験した園生活に慣れている筈のこども達も、二か月近い家庭での自粛生活後とあって、ゆっくり元の生活に戻す様に心掛けています。「この所、転ぶ子が多いね」と職員の中で話が出る事ですが、やはりこの二ヶ月は、こども達にとっても、体を動かす事の少ない日々で、そんな影響かなあ？と思う事です。気温も高くなり、熱中症も心配な季節になりました。園では朝の涼しい内になるべく外に出て遊び、気温を見ては、体操も部屋の前の廊下で行う事が多くなりました。あちこちの止水栓を使って水遊びが出来るようにもしてあります。各年次共、それぞれの野菜の種まきをしながら、土から顔を出す小さな芽を喜んで見ているこども達。小松菜の芽が育ってきている所に止まったモンシロチョウ。先日年少の部屋の前で飼っていたさなぎが成虫になって飛び立っていったモンシロチョウと同じ。S先生が「みんなが飼っていたモンシロチョウが帰ってきたね」と優しい声でこどもに話しかけながら、みんなで見入っていました。



6 / 9 飯羽間の桑の実さんのおばあちゃん達が作って下さった雑巾を、手作りのきれいな箱に入れて届けて下さいました。一枚一枚手で縫って、薄く作ってあるのでこども達にも使いやすく本当にありがたいです。以前はこども達が各2枚ずつ園に持って来てくれていた雑巾も今は集めてないので、こうした雑巾はとても嬉しいです。時々園児の祖父母の方や、人権擁護委員の方からも頂く事があり皆さんに感謝です。今日は40枚も入っていました。未満児の園庭で0才、1才の子が遊ぶ所をおばあちゃんに見て貰いながら頂きました。ありがとうございます。

本当に青虫が蝶になったね



水が流れ落ちる所をジーンとみていたT君でした



一人座れば又一人、未満児組さん、ご飯を食べる前は大騒動。先生達の「あれあれ」「どれどれ」の毎日が続いています。

4月5月6月の誕生日会



おめでとう

6 / 10日

4月からのお誕生日会がやっと出来ました。お誕生日の子は、前に立って年長さんが作ってくれた冠をかぶせてもらい自己紹介。「〇組の〇〇デス。△歳になりました」とマイク片手にみんなに聞いて貰います。「誕生日おめでとう♪」の歌をうたったり、保護者会からのお絵かき帳も貰えます。この日は年長さんが、「はははではじめまして」と「さんぽ」の歌を上手にうたってくれました。理事長先生が買って届けて下さったマイク付きハンドスピーカーが、外でのお誕生会に大間に合い。声もよく届いてgoot!でした。

ポエム
ちいさな
ちいさな
ちようちよが
あそぶので
おおきな
はるが
まどみちお
こどりが
よんだので
おおきな
はるが
わらった
はるが
おおきな
はるが
おおきな
はるが

